

平成26年度松山大学図書館情報学講演会／2014年12月16日（火）12:30～14:00

公共図書館と大学図書館の連携協力～大学図書館の地域貢献～

東京外国語大学学術情報課長 茂出木 理子 (modeki_riko@tufs.ac.jp) Twitter @modekiriko

■略歴 東京大学理学部、東京大学総合図書館、学術情報センター、東京大学情報基盤センター、国立情報学研究所、お茶の水女子大学図書・情報課長、東京大学教養学部等図書課長の勤務を経て、平成25年4月から現職。

2009年第11回図書館総合展ポスターセッション最優秀賞受賞「壁を壊した図書館～お茶大図書館活性化のヒ・ミ・ツ～」



■本日は話したいこと

- ・図書館は何のために存在するのか、何の役にたつのか
- ・そのために「連携協力」は意味を持つのか、持たないのか

■はじめに (アイスブレイク タイム)

- ・図書館総合展のこと
- ・「(学生の) 授業」と「(社会人の) 研修」の共通点、相違点

■図書館に関する本から考える「図書館とは？」

- ・バージニア・リー・パートン著、秋野翔一郎訳『坂の街のケーブルカーのメイベル』（絵本）
- ・アントネッラ・アンニョリ著、萱野有美訳『知の広場：図書館と自由』

■図書館連携に関する当たり前すぎる原則

- 図書館が利用者から求められる資料を提供するためには、必ず図書館同士の連携を必要とする。
- ・統計データから見る検証

■事例報告にみる大学図書館の連携事業、社会貢献事業

- ・連携協定、地域図書館協議会、OPAC システム連携
- ・相互貸出、返却サービス、研究室図書の閲覧・貸出
- ・公共図書館から大学図書館への一括貸出
- ・図書館会員制（年会費、寄付者）
- ・共催イベント（展示会、講演会、上映会、ビブリオバトル etc.）、情報リテラシー講習
- ・レファレンスサービス、地域資料の収集・保存・公開
- ・医学系大学図書館での地域医療情報拠点
- ・大学図書館内「子ども文庫」
- ・図書館業務の連携、職員実地研修

■公共図書館の「貸出しサービス」をめぐる話題

- ・閲覧中心サービスから貸出中心サービスへの動き
- ・楡周平「図書館栄えて物書き減ぶ」

■図書館ってなんだろう？

- ・何をもって「図書館」とみなすか？
- ・kept handy for consultation
- ・マイクロ図書館／ペーパーレス図書館／Public Library of Science (PLOS)
- ・鎌倉幸子著『走れ!移動図書館: 本でよりそう復興支援』(ちくまプリマー新書) 2014.1
- ・長尾真, LRG (編)『未来の図書館を作るとは』達人出版会 2014.6
<http://tatsu-zine.com/books/miraino-toshokan> から無料ダウンロード可能

■大学図書館の機能

- ・資料収集と提供を通して学習・教育・研究支援を行う
- ・知の伝達から知の創出へ
- ・場としての図書館

■「図書館法」に見る(公共)図書館の使命

(定義) 第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設(後略)

■公共図書館ビジネス支援

- ・国立国会図書館「地域活性化志向の公共図書館における経営に関する調査研究」2014.3
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/8649952> から無料ダウンロード可能

■リフレクティブ タイム

■「連携」のための3つのポイント

実態を共有する／相手へのリスペクト／簡単に分った気にならない
批判的思考力(クリティカルシンキング) = 熟慮的思考 = フラットで柔軟であること

■数字で見る図書館

数字だから見えてしまうこと／数字だけでは語れないこと
蔵書回転率／税金還元／カバー率／重複率／包含率

■再び、図書館観「図書館はなぜ本を置くのか」

- ・芥川賞作家、楊逸さんから伺ったエピソード
- ・本の読み方ひとつで、子どもは変わる！菅谷明子さんに聞く「読み方」「学び方」
<http://toyokeizai.net/articles/-/51296>

■まとめにかえて

現在あるいは、これまでのサービスの延長線上で考えていくだけで良いのか？

- ・米国図書館協会「Libraries Change Lives : Declaration for the Right to Libraries」
- ・ピッツバーク・カーネギー図書館長（メアリー・フランシス・クーパー氏）
「新しいサービスを立ち上げる際に図書館員として重要なこと6つ」

■参考文献リスト

1. 前川恒雄. 貸出し (図書館員選書;1) . 日本図書館協会. 1982 (ISBN:4820482017)
2. L. カッソン著, 新海邦治訳. 図書館の誕生 : 古代オリエントからローマへ. 刀水書房. 2007 (ISBN:978-4887083561)
3. 菅谷明子. 未来をつくる図書館 : ニューヨークからの報告 (岩波新書 新赤版 837) . 2003 (ISBN: 4004308372)
4. ノエル・エントウィスル著; 山口栄一訳. 学生の理解を重視する大学授業. 玉川大学出版部. 2010 (ISBN:978-4472404191)
5. 大場博幸. 図書館の実態を数字で把握する 図書館はどのような本を所蔵しているか. ず・ぼん. 2014, no.19. p.2-51
6. 飯澤文夫. 本の街の大学 : リバティアカデミー公開講座による地域連携. 図書館の譜. 2014, no.18. p.1-12
7. 関口千登世. とびだそう!大学図書館はもっともっとできる. 薬学図書館. 2013, vol. 58, no.2. p.112-115
8. 市川美智子. 愛知医科大学と公共図書館の連携による地域貢献. 大学図書館研究. 2013, no.99. p.4-23
9. 折井匡, 小島浩子, 郷原正好. 信州大学附属図書館における地域連携. 現代の図書館. 2013, vol. 50, no.1. p.42-49

10. 菅原聡, 長谷川豊祐. 神奈川県内の大学図書館における地域連携. 大学図書館研究. 2013, no.99. p.1-13
11. 市村櫻子. 東京大学柏図書館の地域社会への貢献. 大学図書館研究. 2013, no.99. p.24-32
12. 中井孝幸. 利用行動からみた「場」としての図書館に求められる建築的な役割. 情報の科学と技術. 2013, vol.63, no.6. p.228-234
13. 長澤多代. 主体的な学びを支える大学図書館の学修・教育支援機能:ラーニングコモンズと情報リテラシー教育を中心に. 京都大学高等教育研究. 2013, no.19. p.99-110
14. 伊藤幸江. 学生の利用のために今ここでできること. 大学図書館研究. 2012, no.94. p.39-48
15. 大場博幸, 安形輝, 池内淳, 大谷康晴. 図書館はどのような本を所蔵しているか. 日本図書館情報学会誌 . 2012, vol.58, no.3. p.139-154
16. 永田治樹. 図書館とインフォメーション・コモンズ. 情報管理. 2010, vol.53, no.7. p.370-380
17. 米澤誠. 大学図書館の社会連携・地域連携活動. リスン. 2008, no.137. p. 10-13
18. 津村光洋, 大井津明子. 鳥取大学医学図書館における公共図書館協力用図書の提供. 鳥取大学生涯教育総合センター研究紀要. 2008, no.5. p.59-65
19. 伊藤哲谷. 社会の共有財産としての図書館. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.1-14
20. 板谷茂. 広島大学図書館の社会貢献事業. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.15-20
21. 藤倉恵一. 文教大学越谷図書館における学外開放. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.21-31
22. 吉井良邦, 北克一. 大阪市立大学学術情報総合センターにおける図書市民利用制度の実施事例. 大学図書館研究. 2006, no.6. p.32-40
23. 廣岡康久. 法政大学図書館の社会連携. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.41-48
24. 古賀実生. 千葉経済大学総合図書館における地域開放状況と地域連携について. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.49-53
25. 白木俊男, 森田正. 鳥取大学附属図書館における社会貢献の現状. 大学図書館研究. 2006, no.76. p.54-61
26. 鈴木均. 貸出至上主義の先に何があるのか. 21 世紀社会デザイン研究. 2002, no.1. p.101-105
27. 楡周平. 図書館栄えて物書き減ぶ. 新潮 45. 2001, vol. 20, no.10. p.116-123
28. 相賀昌宏. 図書館と出版社の協力関係の発展を考える. 図書館雑誌. 2003, vol.97, no.9. p.644-645
29. 石井昂. 鶏を殺さないで欲しい. 本の雑誌. 2014, no.370. p. 20-21
30. 日本図書館協会、日本書籍出版協会『公立図書館貸出実態調査 2003 報告書』2004
<http://www.jbpa.or.jp/pdf/documents/report0403.pdf>
31. 戸田あきら. 蔵書の重複分析による公共図書館ネットワーク効果の研究. 図書館界. 1995, vol.47, no.1. p.2-12

以上